

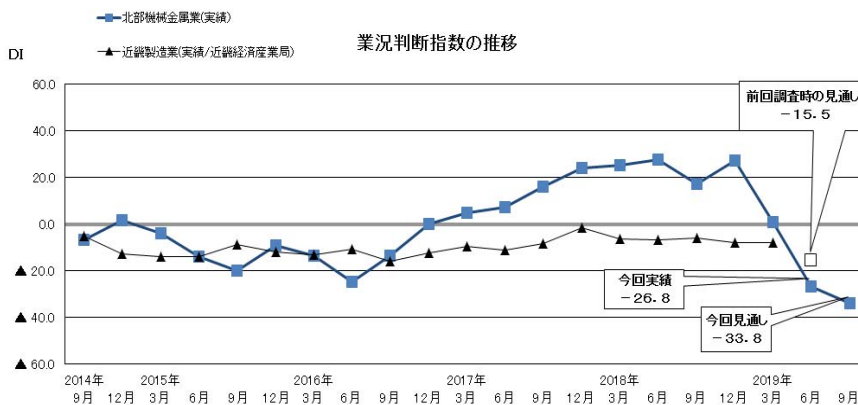
北部機械金属業界の景況動向 (2019年4～6月実績/2019年7～9月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業178社 【調査時点 2019年6月中旬】
- 回答数：134 (回答率75.2%、内訳は以下のとおり。) (単位：社)
 - ①市町別 = 福知山市:29、舞鶴市:18、綾部市:20、宮津市・与謝郡:16、京丹後市:51
 - ②取扱別 = 一般機械:50、電気機械:16、輸送機械:34、精密機械:17、その他:17
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1～9人:36、10～19人:28、20～49人:40、50～99人:14、100人以上:16
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

－ 調査結果 －

1 景況動向判断

●2019年4～6月実績のDI(業況判断指数)は -26.8と2019年1～3月期(以下「前回」)より 27.6ポイント低下した(前回 0.8)。地域別では、福知山市域 -27.6(前回 -14.2)、舞鶴市域 -5.5(前回 10.0)、綾部市域 -25.0(前回 -4.7)、宮津市・与謝郡域 -18.8(前回 -6.3)、京丹後市域 -37.3(前回 9.8)と全地域で前回の値を大きく下回る結果となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●2019年7～9月見通しのDIは -33.8と前回より 18.3ポイント低下の見通しとなった(前回 -15.5)。地域別では、福知山市域 -20.7(前回 -7.2)、舞鶴市域 5.6(前回 5.0)、綾部市域 -36.9(前回 -28.6)、宮津市・与謝郡域 -37.5(前回 -18.8)、京丹後市域 -53.0(前回 -21.5)となり、舞鶴市域を除くすべての地域で前回より大幅に悪化する見通しである。

景況動向判断4～6月実績

全体	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	15.7	41.8	41.0	15.7	5.8	1.5
福知山市	13.8	44.8	41.4	13.8	4.2	-27.6
舞鶴市	27.8	38.9	33.3	27.8	1.2	-5.5
綾部市	15.0	45.0	30.0	10.0	5.0	-25.0
宮津・与謝	12.5	56.2	31.3	12.5	7.5	-18.8
京丹後市	13.7	35.3	51.0	13.7	6.3	-37.3

景況動向判断7～9月見通し

全体	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	8.3	49.6	39.8	18.3	3.0	-33.8
福知山市	6.9	65.5	27.6	6.9	3.1	-20.7
舞鶴市	27.8	50.0	22.2	27.8	2.2	5.6
綾部市	10.5	42.1	42.1	10.5	4.8	-36.9
宮津・与謝	62.5	37.5	62.5	37.5	0.0	-37.5
京丹後市	3.9	39.2	53.0	3.9	9.9	-53.0

2 採算状況

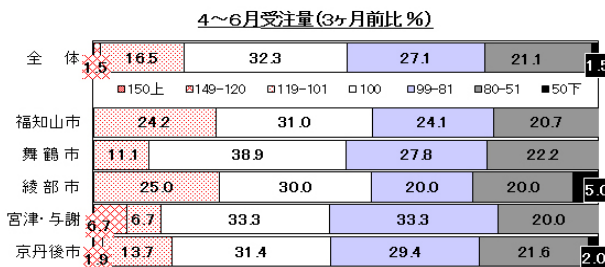
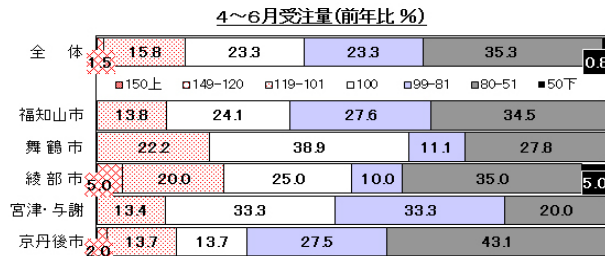
●4～6月の採算状況について、黒字企業の割合が 32.3% (前回 37.3%)と 5.0ポイント低下し、赤字企業は 25.4% (前回 11.9%)と 13.5ポイント増加した。地域別に見ると、黒字企業数が赤字企業数を上回ったのは福知山市域及び京丹後市域で、その他の地域は黒字企業数と赤字企業数が同数またはほぼ同数となった。

4～6月採算状況

全体	黒字	トントン	赤字
全体	32.3	42.3	25.4
福知山市	39.3	28.6	32.1
舞鶴市	27.8	44.4	27.8
綾部市	42.1	15.8	42.1
宮津・与謝	31.2	37.5	31.3
京丹後市	26.5	61.2	12.3

3 受注量

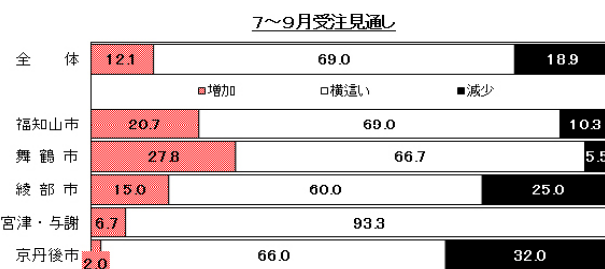
●4～6月の受注量について、対前年同期比100%以上を確保した企業が40.6%（前回55.1%）と前回より14.5ポイント低下した。対3か月前比100%以上を確保した企業は50.3%（前回50.7%）と0.4ポイント低下した。福知山市域及び京丹後市域において、受注量を100%以上確保した企業数の割合の対前年比が、対3か月前比と比較して大幅に低い値となっている。



●4～6月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業の割合が36.1%（前回45.0%）と8.9ポイント低下した。受注能力の100%以上の受注量を確保した企業の割合は宮津市・与謝郡域を除く全地域で前回を下回った。



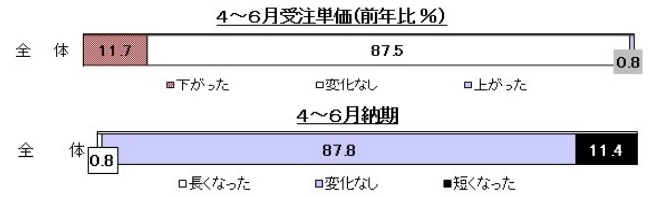
●7～9月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が12.1%（前回13.2%）、減少を見込む企業の割合が18.9%（前回19.9%）であり、やや低下が見られるが前回とほぼ横ばいに推移している。



4 受注条件（受注単価／納期）

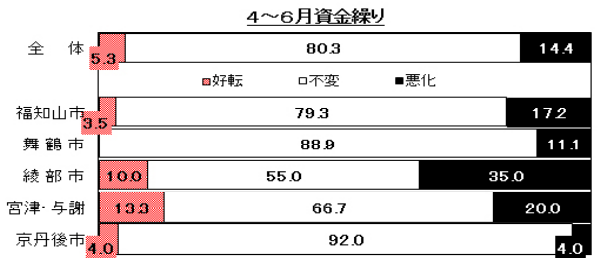
●受注単価が上がったとする企業は11.7%（前回

3.1%）と8.6ポイント増加し、下がったとする企業は0.8%（前回3.8%）と3.0ポイント低下した。納期が短くなったとする企業は11.4%（前回20.6%）と9.2ポイント低下した。



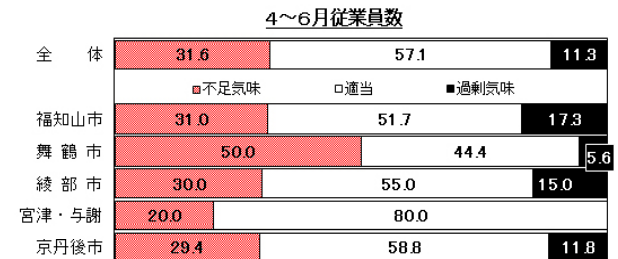
5 資金繰り

●資金繰りについて好転とする企業が5.3%（前回2.9%）と2.4ポイント増加し、悪化とした企業が14.4%（前回10.4%）と4.0ポイント増加した。



6 従業員数

●従業員数が不足気味の企業が31.6%（前回36.8%）と5.2ポイント低下し、過剰気味の企業が11.3%（前回5.9%）と4.6ポイント低下した。宮津市・与謝郡域のみで、過剰気味の企業が前回よりも減少し、舞鶴市域のみで不足気味の企業が増加した。



7 新規雇用

●新卒採用をした企業の割合は22.4%（前年21.6%）、中途採用をした企業は32.8%（前年47.8%）であった。雇用対策の取り組みについては「賃金の向上」が47.9%で最も多く、次いで「職場環境の改善」が44.6%であった。

